

平成 30 年 12 月長浜市教育委員会臨時会 会議録

I. 開催事項

1. 開催日時

平成 30 年 12 月 4 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 10 分

2. 開催場所

教育委員会室（長浜市八幡東町 632 番地 長浜市役所 5 階）

3. 出席者

教育長	板山 英信
委員	井関 真弓（教育長職務代理者）
委員	西橋 義仁
委員	西前 智子

4. 欠席者

委員	廣田 光前
委員	美濃部俊裕

5. 出席事務局職員

教育部長	米田幸子
次長兼教育総務課長事務取扱	岩田健
次長	横尾博邦
教育指導課長	伊藤浩行
教育指導課副参事	河瀬洋子
教育総務課長代理	今井健剛
教育総務課主査	大石文哉

6. 傍聴者

1 人

II. 会議次第

1. 開 会

2. 議 事

日程第 1 会議録署名委員指名

日程第 2 議案審議

日程第 3 その他

3. 閉 会

Ⅲ. 議事の概要

1. 開 会

教育長から開会宣言があった。

2. 会議録署名委員指名

井関委員、西前委員

3. 議案審議

議案第 38 号 公文書非公開決定処分に係る審査請求に対する裁決について

教育長は事務局に説明を求め、教育指導課長及び同課副参事から資料に基づき説明があった。

主な質疑応答は以下のとおり

井関委員：教科書の選定にあたって、長浜市と米原市で第5採択地区の協議会を構成していますが、米原市にも同様に請求されているのでしょうか。

教育指導課副参事：今年度は、採択協議会の事務局を長浜市で預かっていることから、審査請求等の書類は長浜市へ提出されています。米原市へは提出されていませんが、具体的な状況等は逐一米原市に連絡し共有しております。

西橋委員：採択協議会で選定された教科書を採択することについて、仮に長浜市と米原市で異なる判断をした場合、再び採択協議会で審議するということですね。

教育指導課副参事：その通りです。

教育長：合併前、第5採択地区は西浅井町から米原市まで多くの市町教育委員会が関わっていました。採択協議会が選定した教科書を採択することについて、1つでも異論があれば選定をやり直すのは当時から変わりませんが、私が知る限り、選定がやり直された事例はありません。

西橋委員：私が教員をしていた当時、教育委員会で採決される前に採択協議会の委員名や会議録を公表すると、出版社による様々な働きかけがありました。このようなことを鑑みるに、教育委員会で採択する前は、採択協議会の審議内容に関する資料は公表しないとするのは妥当だと考えます。

教育長：特に社会や歴史の教科書を採択するにあたって、過去には政治団体も関わって全国的な問題となったことがございます。採択協議会に参加いただいている地域の保護者代表も、このようなことは大変危惧しておられますので、長浜市としては、原理原則に基づいて対応しているところです。

西橋委員：教員を退職してからも、出版社からと思われる働きかけが数年は続きました。中には、地元の有力者に出版社が依頼して働きかけるということもありました。最近落ち着いてきたようですが、根深い問題だと思います。このようなことが全国的な問題となっていたため、文部科学省から通達が出て今に至っていると記憶しています。

西前委員：事務局の説明や他の委員のお話のとおり、長浜市においては公正公平に教科書を採択されていると思います。教育委員会での採択前は協議会の審議内容を非公開とすることは妥当だと思います。

井関委員：事務局から十分説明いただき、公文書非公開処分から今回の裁決にいたるまでの流れがよく理解できました。提案のとおり決定いただければと思います。

その他に意見はなく、各委員とも異議なしということで、原案どおり裁決された。

4. その他

(1) 教育長より、南郷里小学校での英語の出前授業と、市内の3中学校で行われる保育の体験授業について案内があった。

西橋委員：中学校から小学校への出前授業は、私が教員をしているときにもありました。最近になって再び盛り上がっているようで良いことだと思います。

教育指導課長：小中連携のひとつとして、各学校区で様々な取組をしておられます。中には、中学校の生徒が小学校を訪問して授業をしたり、部活体験をしたりしているところがございます。

西橋委員：これから推進していくにあたっては、小学校と中学校が十分話し合っ、無理が生じないよう配慮いただきたいと思います。

5. 閉会

教育長から閉会宣言があった。